

(1) 白水会報最終号

目 次

- (2)事業報告・事業計画
- (3)会計報告
- (4)会長・校長・副会長のご挨拶
- (6)転任・離任のご挨拶
- (7)令和4年度の進路概要
- (8)各科だより
- (9)この人登場!
- (10)クラブ活動短信
- (12)創立100周年記念式典
- (18)こんなかい・どんなかい!
- (19)会員だより・物故者の方々・記載お詫び
- (20)大阪白水会の解散のご案内について
- (21)寄稿 「さよならの彼方に」
- (24)ありがとう白水会
- (30)会費・寄付納入者一覧
- (31)100周年記念募金名簿・最後の事務局だより
- (32)大阪白水会解散総会のご案内



発行所
大阪市立泉尾工業高等学校内
大阪白水会

〒551-0031
大阪市大正区泉尾 5-16-7
TEL : 06(6552)2221㈹
FAX : 06(6554)7612

加入者名：大阪白水会
発行人：戸田省吾
編集責任者：稻地幸雄

学び舎の思い出 青春時代を永遠に

祝 大阪白水会
大阪市立泉尾工業高等学校 創立100周年記念祝賀会



大阪白水会ありがとう。

令和5年度総会(解散総会)

令和5年10月22日(日)11時30分(於:グレースバリなんば道頓堀店)

令和4年度事業報告

・総会 令和4年7月23日(土) 中止

・100周年記念祝賀会

令和4年10月22日(土) アートホテル大阪ベイタワー

・役員理事会

令和4年6月25日(土) 学校会議室

・理事会

第1回 令和4年4月16日(土) 母校会議室

第2回 令和4年12月3日(土) 弁天町あすか

第3回 令和5年3月25日(土) 母校会議室

・常任理事会(オンライン)

第33回(100周年通算)

令和4年4月10日(日) オンライン会議

以後毎月開催(通算49回) オンライン会議

・令和4年度会報封緘作業

令和4年6月25日(土) 学校会議室

・100周年祝賀会フォトブック制作作業

令和5年2月4日(土) 学校会議室

・運営委員会(学校・PTA・後援会・泉会合同会議)

第16回(100周年通算)

令和4年5月25日(水) 校長室

以後毎月開催(通算22回)

令和5年1月16日(月)

令和5年度事業計画

・役員理事会 令和5年6月18日(日) 弁天町あすか

・理事会 第1回 令和5年5月20日(土) 母校会議室
第2回 令和6年3月中 母校会議室予定

・常任理事会(オンライン)

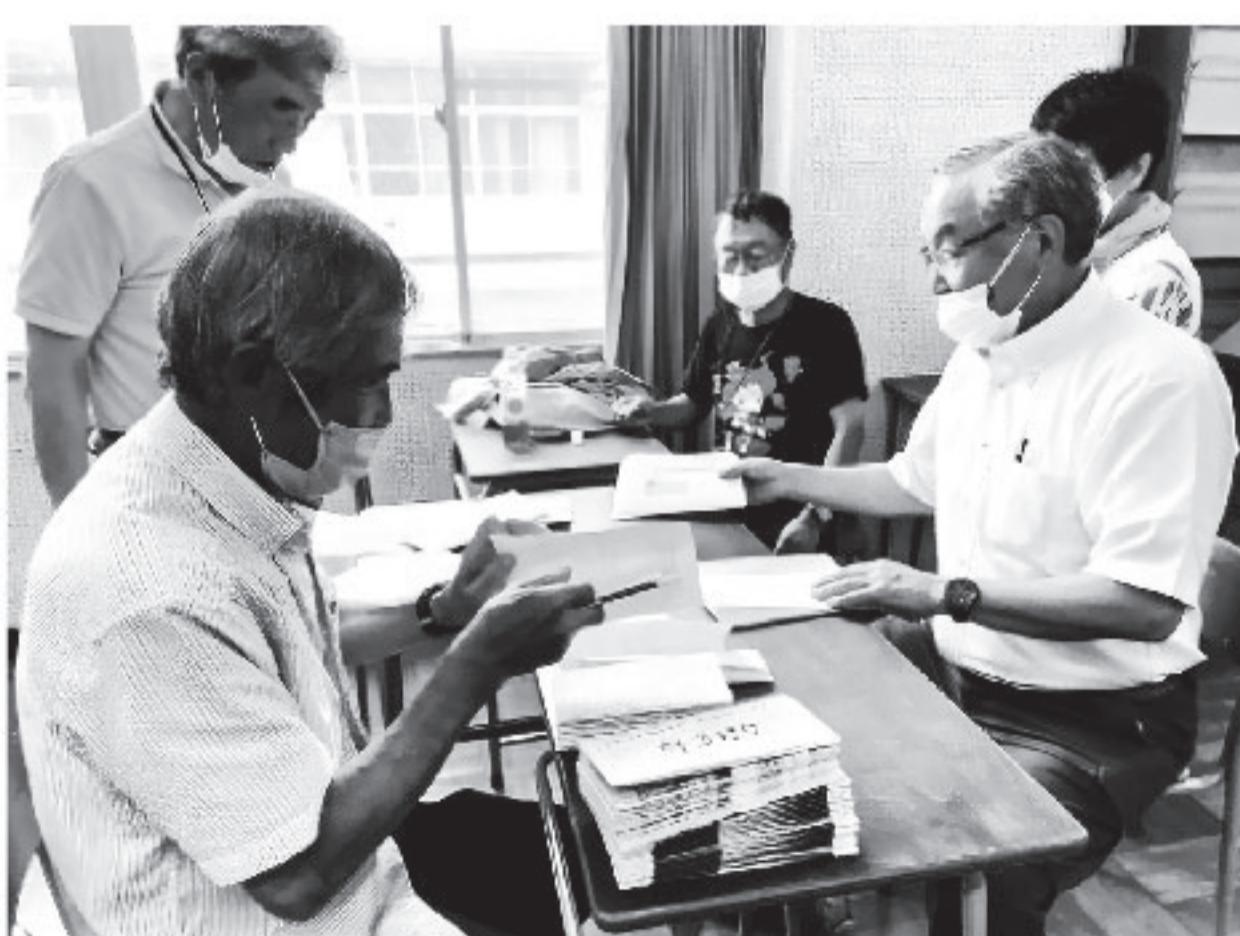
第1回 100周年通算50回

令和5年5月15日オンライン

令和5年度毎月開催 オンライン会議

・令和5年度会報封緘作業(発行9月1日(予定))

令和5年8月19日(土) 母校会議室予定



(3) 白水会報最終号

令和4年度一般会計決算報告書

【収入の部】

項目	予算額	決算額
会費	800,000	876,397
予納金	580,000	0
広告料	10,000	5,000
別途積立基金繰入	500,000	1,000,001
前年度繰越金	318,435	318,435
利息	0	1
合計	2,208,435	2,199,834

【支出の部】

項目	予算額	決算額
会報発行費	720,000	705,158
総会費	100,000	12,666
新入会員歓迎費	70,000	56,707
教育後援会費	100,000	0
会議費	10,000	31,888
事務・郵送費	10,000	15,456
人件費	624,000	624,000
通信費	60,000	60,062
慶弔費	50,000	0
雑費・消耗品費	50,000	1,278
H P更新費	50,000	5,568
交通費	30,000	19,000
100周年積立金	0	0
予備費	334,435	194,358
合計	2,208,435	1,726,141

(一般会計)

収入総額	2,199,834
支出総額	1,726,141
差引額	473,693

令和4年度100執念会計決算報告書

【収入の部】

項目	予算額	決算額
募金	0	329,000
広告料	0	0
一般会計繰入金	0	0
基金会计繰入金	0	0
前年度繰越金	3,929,176	3,929,176
雑収入	0	723,034
合計	3,929,176	4,981,210

【支出の部】

項目	予算額	決算額
総務費	100,000	0
通信費	100,000	35,887
会議費（交通費含む）	100,000	58,340
寄付活動関係費	10,000	0
祝賀会関係費	2,500,000	2,279,486
記念品関係費	0	0
記念事業関係費	0	0
記念誌関係費	50,000	370
DVD制作費	0	0
予備費	69,176	30,417
基金会计積立金	1,000,000	0
合計	3,929,176	2,404,500

(100周年会計)

収入総額	4,981,210
支出総額	2,404,500
差引額	2,576,710

令和4年度教育基金会計

【収入の部】

項目	予算額	決算額
前年度繰越金	1,000,000	1,054,000
利息	0	0
100周年会計繰入	1,000,000	2,576,710
合計	2,000,000	3,630,710

【支出の部】

項目	予算額	決算額
一般会計繰入	500,000	1,000,000
周年会計繰入	0	0
合計	500,000	1,000,000

(基金会计)

収入総額	3,630,710
支出総額	1,000,000
差引額	2,630,710

令和5年度一般会計予算書

【収入の部】

項目	予算額
会費	0
予納金	0
広告料	0
別途基金繰入	2,576,710
前年度繰越金	473,693
その他（教育基金）	54,000
合計	3,104,403

【支出の部】

項目	予算額
会報発行費	710,000
総会費	100,000
新入会員歓迎費	0
教育後援会費	0
会議費	100,000
事務・郵送費	100,000
人件費	636,000
通信費	100,000
慶弔費	50,000
雑費・消耗品費	100,000
H P更新費	50,000
交通費	30,000
予備費（処理費）	1,128,403
合計	3,104,403

令和4年度会計監査報告

監査の結果、性格あることを認めます。

令和5年5月20日

大阪白水会 監査 山口實

最終会報 会長挨拶



会長(平成42)
戸田 省吾

会員の皆様におかれましてはますますのご盛栄のことと拝察いたします。

唐突ではありますが、大阪白水会は令和5年度末(令和6年3月31日)で解散することが決まりました。

解散することになりました要因は、白水会活動を支えている財政が、会員よりの年会費で運営されていますが、この10年間の状況は会員の高齢化に伴う会費納入額の減少が加速していることと、卒業生徒数の減少に伴う予納金(5年間分前納)

の減少で、会費と予納金収入だけでは事業が継続できないため別途積立金を取り崩して運営していました。

そして、令和4年4月より、母校が大阪府立への移管となり、卒業生徒の白水会加入に際し、会費前納制度への理解が得られませんでした。

大阪白水会は大正15年10月、母校創立の日から少し遅れて発足し、以来途切れることなく先輩から後輩へ100年の永きにわたって母校発展への物心両面で暖かく支える活動を続けてきましたが、令和

5年4月の新規加入者はゼロとなり、組織を整然と解散するための財源が残された状態で大阪白水会活動の存続を断念することにしました。

終焉を迎える最後の年度になり、解散に向けての諸活動が既に実施していますが、9月に発行します会報は最終号となりますので、一人でも多くの会員様に解散総会に向けての周知広報を行っていきます。

(本誌の解散総会のご案内を必読ください)

また、令和4年4月までに入会しました会員には年会費の残存期間がありますので、それぞれの残存期間に応じて年会費を返還していきます。

最後になりましたが、本年度最後の白水会活動への会員各位のご理解およびご協力に厚く感謝申しあげまして、大阪白水会の最終号の挨拶とさせていただきます。

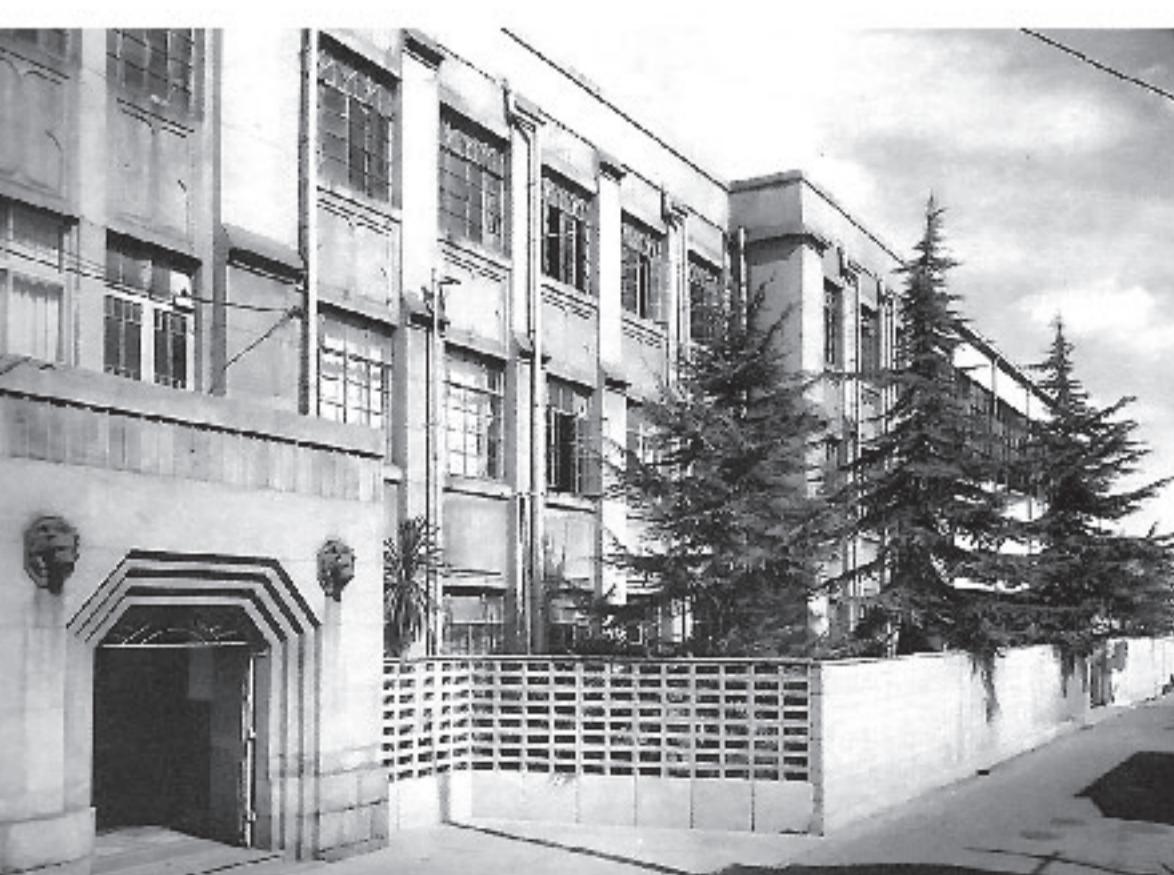
「白水会会報(最終回)ご挨拶」



校長
永田 夏穂

白水会の皆様には平素より本校の教育活動に格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。これまで本校の発展に並々ならぬお力添えを賜わりました白水会が、今年度末をもちその活動を終えることとなり、戸惑いと不安が隠せない状況であります。しかし、この間白水会とともに築き上げてきた本校の摇るぎない歴史と伝統は私たち教職員の自信になつております。今後は白水会なくともこれまでと変わ

ることなく輝き続ける泉尾工業でいられるよう教職員一同邁進してまいります。白水会の活動に終止符が打たれましても、皆様の母校が泉尾工業高校であることに変わりはありません。これからも温かく本校を見守っていただきますようお願い申しあげます。長きにわたる本校教育活動へのご理解、ご支援、本当にありがとうございました。



旧校舎正面玄関イラスト

大阪白水会会員の皆様へ



木原 和子
副会長 (S 48)

新涼の候 皆様には益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。

また、大阪白水会解散にあたり、永きに渡り大阪白水会を支えてくださいました全ての会員の皆様に感謝申しあげます。

6年前の平成29年1月に、第18代会長田中啓治氏が療養の甲斐なく任期半ばでご逝去された為、白水会理事会にて会長の後任を急遽諮つたところ、同じ電気科42年ご卒業の戸田省吾氏が手を挙げてくださいました。折しも白水会主催の大きなイベントである『大阪市立泉尾工業高校 創立100周年記念事業』に向けての重責も覚悟の上で決断をされ、第19代会長を引き受けてくださつたと推測しております。会長を引き受けてくださる条件の一つとして、常任理事でかつ母校での在職経歴のある私が副会长を引き受けるのであればとの経緯がありました。副会长という大役が私に務まるかどうか、考える余地もありませんでしたが、長年母校に勤めさせて頂いた礼を尽くすべく、少しでもお役に立てればとの思いから引き受けさせていただきました。しかし白水会のさまざまな行事の打ち合わせと実行は、思ひの外、私が学校現場にいた90周年以前の頃のように連携が思うように持てなかつたこと、意思疎通が希

薄になつたことを痛感致しました。卒業生で母校に在職する教職員の常任理事(会則規約第6条-5、6平成7年4月実施より)稻地先生お一人になつてしまい、公務と白水会のパイプ役にかなりのご心労、ご負担をお掛けしたのではないかと思つております。

令和2年10月5日に令和2年度第1回常任理事会が母校本館2階会議室において開催されて以来、令和5年6月13日現在まで理事会は52回を数えるに至りました。創立100周年記念事業に向けた母校との実行委員会も20回を超える会合を重ねて参りました。

「大阪市立泉尾工業高校創立100周年記念」を大いに盛り上げていこうとした矢先の令和2年11月に、大阪市立の全ての高校が大阪府立高校に移管されることが発表され、尚且つ、令和2年4月にはコロナ感染非常事態が発令されていて、白水会も未開催の経験することになりました。当然、膝を突き合わせての打合せ会議もままならず、「リモート会議」を余儀なく強いられる事となりました。会長、副会长もまた、常任理事長、常任理事3名、事務局1名の計7名で構成されている常任理事会のリモート会議も最初のころは本当に大変で、パソコン操作に不慣れな私達が画面に全員揃うにも時間がかかつてしまい、戸田会長には本当に手を煩わせました。50回を超

えのリモート会議も今はスムーズに開催することが出来ており、今となつては良き思い出で、良い勉強になっています。副会長の仕事の一つに議事録作成があるのですが、これも会長にご指導頂き、現在に至っています。

一身上のご都合により、常任理事を辞退されたM45卒の澤昭二さんにも常任理事会発足時にはご指導、ご協力いただいたことも申し添えさせて頂きます。有難うございました。

令和4年10月22日に執り行われた大阪白水会主催の『大阪市立泉尾工業高等学校創立100周年記念祝賀会』は、令和2年の募金活動からはじまり記念式典・記念誌創刊・記念品贈呈に引き続き、昨秋の記念祝賀会の開催にて完結することができます。手作り感満載の祝賀会ではございましたが、お陰様で大盛会となつて一生涯心に残る祝賀会が開催出来たと常任理事一同、自負しているところでございます。

この度、令和5年度を以つて大阪白水会が解散に至つた経緯は別記されている通りでございますが、『栄える伝統溢るる生氣 先人に續け泉工魂』の魂は永遠に消えることはありません。

これまで支えてくださつた歴代校長、歴代会長、教職員の皆様方、常任理事、理事各位、大勢の白水会会員の皆様本当に有難うございました。皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申しあげます。

令和5年9月吉日

転任・離任のご挨拶



前教頭
奥田 美菜子

(大阪府立生野工業高等学校)

白水会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日々ご支援をいただいておりますことに感謝と御礼を申し上げます。

私は令和2年4月、14年間勤めさせていただいた泉尾工業高等学校に6年ぶりに教頭として戻り、令和5年3月まで3年間お世話をになりました。赴任当初は新型コロナウイルス感染症が人々の暮らしに大きな影響を与えており、学校も臨時休業となつておりました。そのような中、今何ができるのかを考え日々取り組んでおりました。6月になつてようやく学校が再開し、新1年生の入学式をやつとの思いで実施いたしました。

白水会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日々ご支援をいたしました。学校行事についてもほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響のため制限された状態で、白水会の皆様にはご来校していただく機会がございませんでした。そのような状況でありますましたが、令和3年にになると少しずつ以前の日常を取り戻し、創立100周年記念式典を開催させていただきました。実施にあたりましては、戸田会長をはじめ白水会、教育後援会、泉会、PTAの皆様にご協力とご支援をいただき無事に開催することができました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございます。最後になりましたが、皆さまのさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。これまでの3年間、本当に有難うございました。

私は令和2年4月、14年間勤めさせていただいた泉尾工業高等学校に6年ぶりに教頭として戻り、令和5年3月まで3年間お世話をになりました。赴任当初は新型コロナウイルス感染症が人々の暮らしに大きな影響を与えており、学校も臨時休業となつておりました。そのような中、今何ができるのかを考え日々取り組んでおりました。6月になつてようやく学校が再開し、新1年生の入学式をやつとの思いで実施いたしました。



井ノ本
前事務長



国語科
小東 直子

白水会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、四年間お世話をになりました泉尾工業高校を離れ、布施高等学校へ異動となりました。四年前、大阪市立泉尾工業高校への赴任を知らされたことを今でも鮮明に覚えております。大学卒業後は民間企業に勤めながら教員を志して大学に戻り、なんとか教員免

た。しかし、その後は分散登校が続き、なかなか全員がそろつて授業をすることができませんでした。学校行事についてもほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響のため制限された状態で、白水会の皆様にはご来校していただく機会がございませんでした。そのような状況でありますましたが、令和3年にになると少しずつ以前の日常を取り戻し、創立100周年記念式典を開催させていただきました。実施にあたりましては、戸田会長をはじめ白水会、教育後援会、泉会、PTAの皆様にご協力とご支援をいただき無事に開催することができました。本当にありがとうございます。最後になりましたが、皆さまのさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。これまでの3年間、本当に有難うございました。

そして、昨年4月からは泉尾工業高等学校の良さを生かしながら府立高校として新しいスタートを切りました。様々な慣れることの連続で苦労をいたしましたが、なんとか乗り越えることができこれから色々なことに取り組もうと考えています。自分自身、事務長職は初めてでしたし、何より府への移管1年目ということで事務室はまさしく嵐のような1年でした。例えば、庶務給与事務は、いわば全員が新規採用と同じような手続きが必要となり、年度当初は怒涛の如く業務を進めました。さらには市立時代の積み残しの課題への対応や、とにかく困ったのは、去年の例がないことです。なかにはセンター化されていて取り扱っていることです。なかにはセンターハウスへも参考にできる書類やノウハウがないことがあります。

思えば、泉尾工業での勤務は1年と短いものでしたが、とても濃密な1年となりました。私自身、事務長職は初めてでしたし、何より府への移管1年目ということで事務室はまさしく嵐のような1年でした。例えば、庶務給与事務は、いわば全員が新規採用と同じような手続きが必要となり、年度当初は怒涛の如く業務を進めました。さらには市立時代の積み残しの課題への対応や、とにかく困ったのは、去年の例がないことです。なかにはセンター化されていて取り扱っていることです。なかにはセンターハウスへも参考にできる書類やノウハウがないことがあります。

そこで、業務を進めるにあたって事務室が一丸となれたこと、永田校長先生、奥田教頭先生や担当教職員の皆さんに配慮や協力をいただき、また本庁関係各課の皆さんにもこういった状況を察してか何かと協力いただきました。学校行事についても年やつてこられたと思います。これからは外から見守る立場となりますが、泉尾工業がますます元気で魅力ある高校となるよう願っています。

私は、新しい職場で引き続き戦闘する毎日です。思えば、泉尾工業での勤務は1年と短いものでしたが、とても濃密な1年となりました。私自身、事務長職は初めてでしたし、何より府への移管1年目ということで事務室はまさしく嵐のような1年でした。例えば、庶務給与事務は、いわば全員が新規採用と同じような手続きが必要となり、年度当初は怒涛の如く業務を進めました。さらには市立時代の積み残しの課題への対応や、とにかく困ったのは、去年の例がないことです。なかにはセンター化されていて取り扱っていることです。なかにはセンターハウスへも参考にできる書類やノウハウがないことがあります。

「暗中模索」「試行錯誤」こんな言葉が頭に浮かびます。そんなことを繰り返しながら、まるで「開拓者」のような気持ちで業務に取組んだ1年であつたように思います。

それでも、業務を進めるにあたって事務室が一丸となれたこと、永田校長先生、奥田教頭先生や担当教職員の皆さんに配慮や協力をいただき、また本庁関係各課の皆さんにもこういった状況を察してか何かと協力いただきました。学校行事についても年やつてこられたと思います。これからは外から見守る立場となりますが、泉尾工業がますます元気で魅力ある高校となるよう願っています。



許を取得できた春のことでした。自身の力不足に落ち込むときもありましたが、生徒の皆さんは元気いっぱいでいつも勇気づけてくれ、たくさんの笑顔があつた四年間でした。伝統ある工業高校でものづくりに触れた私の教員生活の第一歩を過ごした泉尾工業は、私にとって多くのことを学ばせていただいた大切な場所です。これからも新しい場所で、より一層励んでまいりたく存じます。

未筆になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

卒業生の進路概要について

令和4年度 97名の卒業生がそれぞれの道へと巣立っていきました。

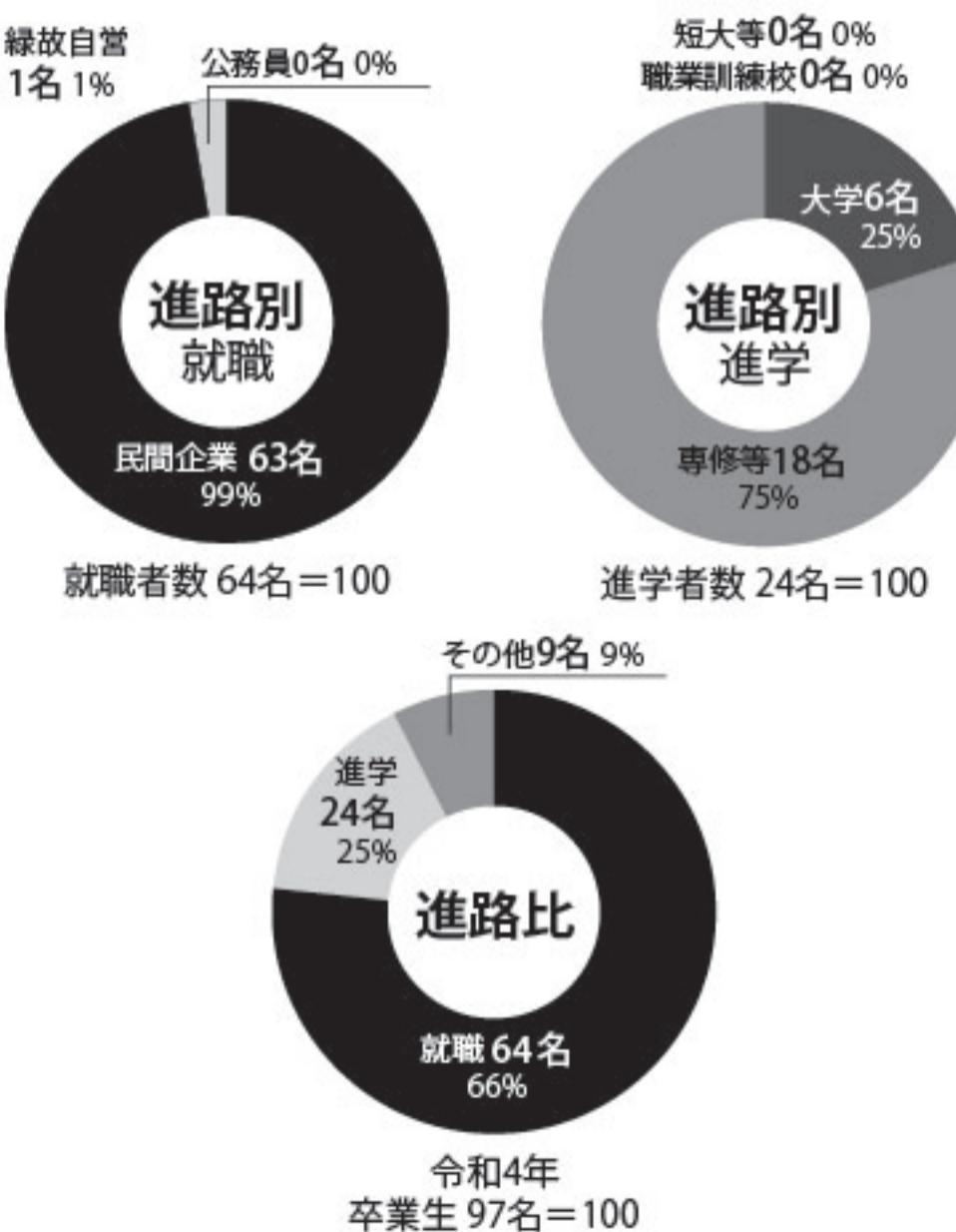
就職につきましては、希望者64名に対し、求人件数は1,135社もの会社から求人をいただき、求人数は1,375名となりました。

学校紹介の就職希望者の内定率は、積極的で粘り強い行動を積み重ねたことが実を結び依然好調なものとなりました。本当にこれだけ多くの求人をいただくことができているのは、ここに至るまで頑張ってこられた先輩方や、多くの先生方、並びにご尽力いただいたPTAの方々、また卒業生の方々が積み上げてこられた伝統の賜物だと感じております。今年度も生徒たちの希望を

叶え、就職内定率100%を目指すべく生徒たちのサポートに尽力して参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

進学につきましては、校内進路説明会、実習での専門学校との連絡授業の実施、各校でのオープンキャンパスや体験入学への参加等を通して、進学指導の充実を図っております。現状、指定校推薦入試の充実や総合型選抜(旧AO入試)など、比較的進学しやすい状況となっています。今後、自らの将来を見据える上で、進学先とその先にある将来の夢や就職を結びつけ、これまで学んできたことを土台にし、新たな挑戦のために、生徒たちがそれぞれ希望する専門学校や大学などに進んでいくてほしいと願っています。

今年度4月の進路希望調査では、3年生の7割が就職を希望し、進学を希望している生徒は例年並みとなっております。今年度3年生すべてが、自ら希望する進路へと進めるよう、進路指導課、担任団、工業専門5科を軸に、今後も学校全体でより良い進路指導に取り組んで参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



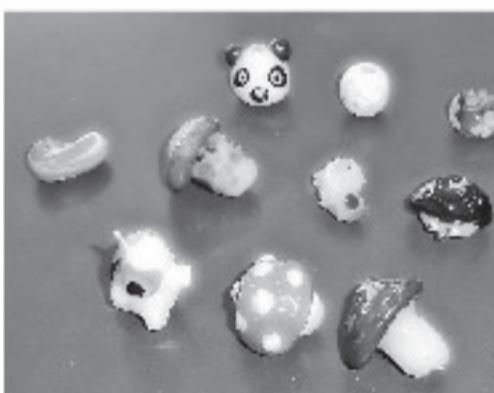
	就職				進学				卒業者数		
	民間企業	公務員	縁故自営	小計	大学	短大等	専修等	職訓			
男子	46	0	1	47	4	0	6	0	10	5	62
女子	17	0	0	17	2	0	12	0	14	4	35
合計	63	0	1	64	6	0	18	0	24	9	97

各科 だより

セラミック科

今年からセラミック科の入試は工業化学科とのくくり募集となりましたが、中学生時にセラミック科の見学や実習体験を経て入学を決めてくれる子らも多々、職員として一層親身な指導を目指しているところです。

例年どおり、体験入学や学校見学も今後予定されておりますので卒業生の皆様方からお近くのお子様にセラミック科を紹介していただけましたら幸いであります。



遠足は年1回、体育祭競技と応援は半日開催となりました。外の方の観覧についてもまだ十分にオープンになつたとはいえませんが、一方で卒業式や体育祭ではようやく齊唱や応援の声出しができるようになりました。校内でも大半の生徒がマスクをはずし、元気な表情が見えることが日常となってきたことを喜びつつ、生徒らの成長を期待するこの頃です。

工業化学科

卒業生の皆様、いかがお過ごしのことでしょうか。

長らく続いてきたコロナワイルスも落ち着いてきて学校現場の内定を皮切りに3年生全員が就職先や進学先が決まり無事卒業を迎えることができました。今年度も生徒一人一人の進路に向けてしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

さて、100周年の伝統のある大阪白水会も今年が最後ということで非常に残念ではあります。100年の間、生徒や我々教職員に対し多大な支援をいたいたことは決して忘れることがなく、今後も色あせることがない記憶として残つて

も以前の日常に戻つてきました。そのようななか今年度から工業化学科とセラミック科がくくり募集となり工業化学科として4名の生徒が入学いたしました。また教員のほうも2名減となります。

4人体制でスタートしております。2年、3年を合わせた工業化学科の生徒の総数も12名と寂しい限りですがその分、一人一人に対する手厚い指導に向けて工業化学科教職員が一丸となり在校生の支援に尽力したいと考えております。また、卒業後の進路においては東洋アルミ株式会社へおいては東洋アルミ株式会社へ内定を皮切りに3年生全員が就職先や進学先が決まり無事卒業を迎えることができました。今

卒業生の皆様こんにちは、如何お過ごしでしょうか。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でしたが、体育祭や文化祭では、機械科の頑張る力が發揮され、大いに盛り上りました。資

す。心から感謝申し上げます。少なくなってきた生徒数ではありますが卒業生の皆様からのご支援いただければありがたく存じます。

最後となりましたが、卒業生の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申しあげます。

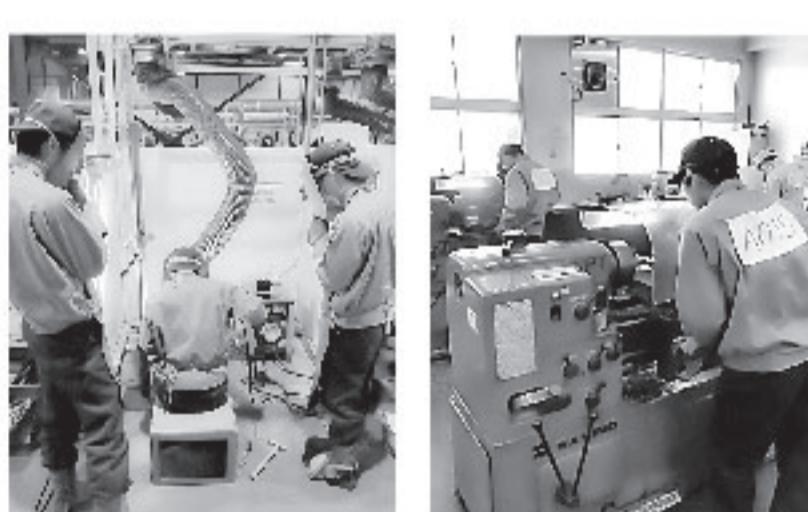
「写真は課題研究で生徒が作成した『とんぼ玉』を生徒が産業教育フェアで実演・販売したもので

「写真は課題研究で生徒が作成した『とんぼ玉』を生徒が産業教育フェアで実演・販売したもので

を展示させていただき、「ものづくり」の楽しさを多くの方々にお伝えすることができ、大変好評をいただきました。そして、新卒者の機械科24名全員は進路先が決定し、4月から大いに活躍されると思います。

最後になりますが、今後とも母校発展の為に、ご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願ひ申します。また、白水会のご発展と会員の皆様方の今後益々のご活躍をお祈り申しあげます。

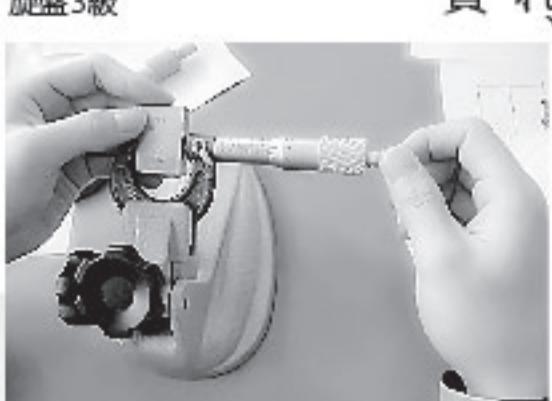
機械科



JIS溶接技能者評価試験
機械検査3級



旋盤3級



フォークリフト講習



格取得では、新たに技能検定の普通旋盤作業3級とJIS溶接技能者評価試験(A-2F)の講習もおこない、ジュニアマイスターのゴールド認定の受賞生徒が出ました。

また、学校説明会や産業教育フェアなどに、機械科の生徒作品を展示させていただき、「ものづくり」の楽しさを多くの方々にお伝えすることができ、大変好評をいただきました。そして、新卒者の機械科24名全員は進路先が決定し、4月から大いに活躍さ

電 気 科

昭和38年に創設されて今年で60年目の節目を迎えることになりました。

電気科では現在も在学中に第二種電気工事士の資格取得をめざしております。1年生で鑑別に必要な工具や材料を集中して学習し、2年生で筆記試験対策を放課後などを利用して学習に取り組み、全員受験しております。試験は平成30年度から上期、下期の両方で受験することができるようになり、上期で合格に至らなかつた場合であつても、下期に再挑戦することができるようになっています。

現在のコロナ禍において、就職や進学にどのような影響が出るのか心配しておりますが、電気科への求人には大きな影響もなくほぼ例年通り、希望進路へ進むことができました。大阪白水会の発展的解消について、大変残念にはおもいますが、これまで支えていたただいたことを忘れず、泉尾イズムを継承していきたいと思います。

日本マスターズ水泳協会公認大会
新春マスターズスイムミート
2023年1月29日280歳区分
男4人X100mフリーリレー
4分40秒3 日本新記録
第3泳者です。



荒川博行さんを紹介いたします。色染科46私達がの誇れる友人です。



我が故郷の母校の思い出

M35 北村 秀昭

大阪白水会ホームページ、事務局ブログにて、連載中!



ホームページアドレス
<http://osaka-hakusuikai.sakura.ne.jp/>

父は私の幼少年期に亡くなり、様々な諸事情によりお墓の場所が分からず、墓参りができていません。

母に相談すると、父のいとこが父の同級生と結婚し、お墓の場所もご存知のはずとのこと。父は泉尾工業高校の卒業生。早速白水会にお手紙を出しました。

すると長谷川さんから連絡が。人探し協力しますとのこと。嬉しかったです。

その同級生と連絡はどちらかつたものの、他の同級生お二人と、お話ができました。父の当時の様子、大阪九州間を歩いて往復し、新学期の始業式に間に合わなかった等。

写真も送ってもらいました。大切にします。

今年2月、長谷川さんを訪問し、おおらかなお人柄に触れま

春になつたある日、アドバイス通り、島のお寺に電話してみたところ、樋屋家のお墓ありますとのお返事。

お寺の方から連絡をとつて下さい。大阪在住の父のいとこ(先述のいとことは別の方)とお話しする事ができました。

80歳の女性と46歳の私。お互いに感激し、一度ぜひ会いましょう、お墓の地図も書いて下さること。

長年なんとなく諦めていたお墓参りが、もうじき実現しようとしています。

また、長崎に行つたら報告しますね!

泉工生だった父を見てがかりに

中野 保恵

今は亡きA43樋屋達雄の娘

昨年の秋頃でした。

大河ドラマをみているうちに、祖先に興味をもち、私も家系図をつくろうと思い立ちました。

作成するうちに、亡き父の故郷(長崎)に思いが強まつてきました。

大人なり自分のルーツを探しています



学生時代(55年前)の父



クラブ活動短信

バドミントン部

現在、バドミントン部は男子3名、女子7名で活動しています。前年度の三年生が卒業して、部員が2名ほどになり存続の危機でしたが、現部長の頑張りもあり新入部員がたくさん入つてくれました。現在、

技術指導をできる顧問がおらず、試合にも出場していないのですが、お互いに教えあって夏の大会への出場を目標にがんばっています。

顧問 水谷 種男



伝統ある男子バレー部ですが、近年は部員不足に泣いております。今年度5月現在、新2年生が1名のみという寂しい状況です。6月からは平日1日を本校体育館で顧問との練習、土日祝は他校との合同練習を計画しています。

〔令和4年度主な戦績〕

□4月 大阪春季大会1次予選出場（泉尾工・茨田合同）

□6月 大阪春季大会2次予選出場（泉尾工・茨田合同）
□7月 大阪高校総体・東地区男子予選出場（泉尾工・茨田合同）

□6月 大阪春季大会2次予選出場（泉尾工・茨田合同）
□7月 大阪高校総体・東地区男子予選出場（泉尾工・茨田合同）

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部の活

動状況

昨年度も少しだけ部員が増え、インターハイ予選、ウインターフィナル予選、公立校大会、新人戦と出場しました。今年はやっと5人集まつたので泉尾工業高校単独で公式戦に出場できるようになりました。ですが

未経験者も多くまだ部員も増やしたいのでぜひとも入部

します。

□練習日：週5日

□4月末～インターハイ予選

□8月末～ウインターフィナル予選

□10月末～公立校大会

※コロナウイルスの関係で変更するかもしれません。

のほうよろしくお願ひします。女子バスケットボール部は

楽しむところは楽しむ、しっかりするところはしっかりするこ

とを日頃から意識し、「気配り」思いやり・感謝」を大切に活動しています。人数が少ないながら一生懸命に頑張っていますので応援の方宜しくお願ひ致します。



自動車部

ひと昔前までは、ソーラーカーやエコデンカーを製作していた部ですが、ここ数年部員がない状態が続いていた。一昨年に機械科の一人が入部し、現在3年生1名のみである。昨年は、機械加工の技術を身につけるために、普通旋盤作業の技能検定3級にチャレンジ。また、加工による正確な寸法測

定も必要になることから、機械検査作業の3級にもチャレンジし、二つとも合格することができます。今年は、部材を溶接するためにJIS溶接評価試験の基本級の取得を目指し、課題研究の生徒の力も借りながら、車の製作に取り組む。



ために「おいしかった！」と声をかけてもらい、部員たちも満面の笑みでした。本当にありがとうございました。

コロナ禍で思うように活動できなかった時期もありました。が、なんとか今年度は週に1回のペースという本来の形に戻すことができそうです。4月末の体験入部に参加した1年生4名が入部届を出してくれたので、3年生2名とともに新たなスタートを切ることができました。クッキング部の活動を通して、おいしく作るための科学的な裏付けや地域や歴史などの文化的な背景を理解できるようになるために料理検定や菓子検定にもチャレンジしています。今年も色々なことにチャレンジしながら、美味しいものを楽しく作っていきたいと思います。



クッキング部では昨年度3年ぶりに文化祭でチョコブラウニーを出品することができました。文化祭に向けて何度も練習を重ね、味はもちろん見栄えやラッピングにも一工夫加え、朝から頑張って作った150食がお昼休みの15分ほどで完売しました。買つていただいた皆

クッキング部

顧問 仲 美愛、小名木 仁季、

福田 みのり

顧問は池中(セラ)、西岡(理科)、関野(ファ)の3名です。小東(国語)は転勤となりました。クッキング部の活動を通して、おいしく作るための科学的な裏付けや地域や歴史などの文化的な背景を理解できるようになるために料理検定や菓子検定にもチャレンジしています。今年も色々なことにチャレンジしながら、美味しいものを楽しく作っています。

陶芸部



顧問は淡路谷(朋子)、全国でも数少ない部活動、テキスタイル部です。今年度のメンバーは3年生3名、2年生3名、1年生2名の計8名で活動しています。

昨年度は感染症拡大の影響も和らぎ、中学生対象の教育フェアや文化祭などのイベントを中心に活動することができます。産業教育フェアの捺染体验では、中学生はじめ多くの方々に「瞳」をモチーフとした捺染エコバッグ制作を楽しんでいただきました。文化祭ではニットや織物で秋らしい作品を発行は今年で最後になると伺いました。皆さんに年次だりができなくなるのは残念な限りです。卒業生の皆様これからもどうか元気でお過ごしください。泉尾工業がある限り陶芸部は活動を続けていきますので、



テキスタイル部

顧問 淡路谷 朋子

また一度顔を覗かせてください。お待ちしております。

今年度の活動としては、テキスタイルの素材や染色技法を研究しプロダクトとして制作したもの、教育フェアや文化祭など多くのイベントで披露していきたいと考えております。





創立100周年記念の思い出



大阪市立泉尾工業高等学校 創立100周年記念祝賀会
令和4年10月22日(土) 於:弁天町アートホテル



Snap

祝賀会スナップ *Celebration Snap*

大阪市立泉尾工業高等学校 創立100周年記念 祝賀会 2022・10・22 主催大阪白水会



秋晴れのお天気



90周年と同じ弁天町 アートホテル大阪ベイタワー



PCR検査結果受付



歴代の校長・白水会会長・副会長・上本先生(汎愛高校元校長)



懐かしの先生方もご参加下さいました

Snap2

何ど!?
ホテル会場の責任者は
A平15大山氏です!!



学校・PTA・後援会関係全員
不参加の中、唯一個人的に
参加して下さった
C科科長河村先生と
旧職の方々・山本元PTA会長

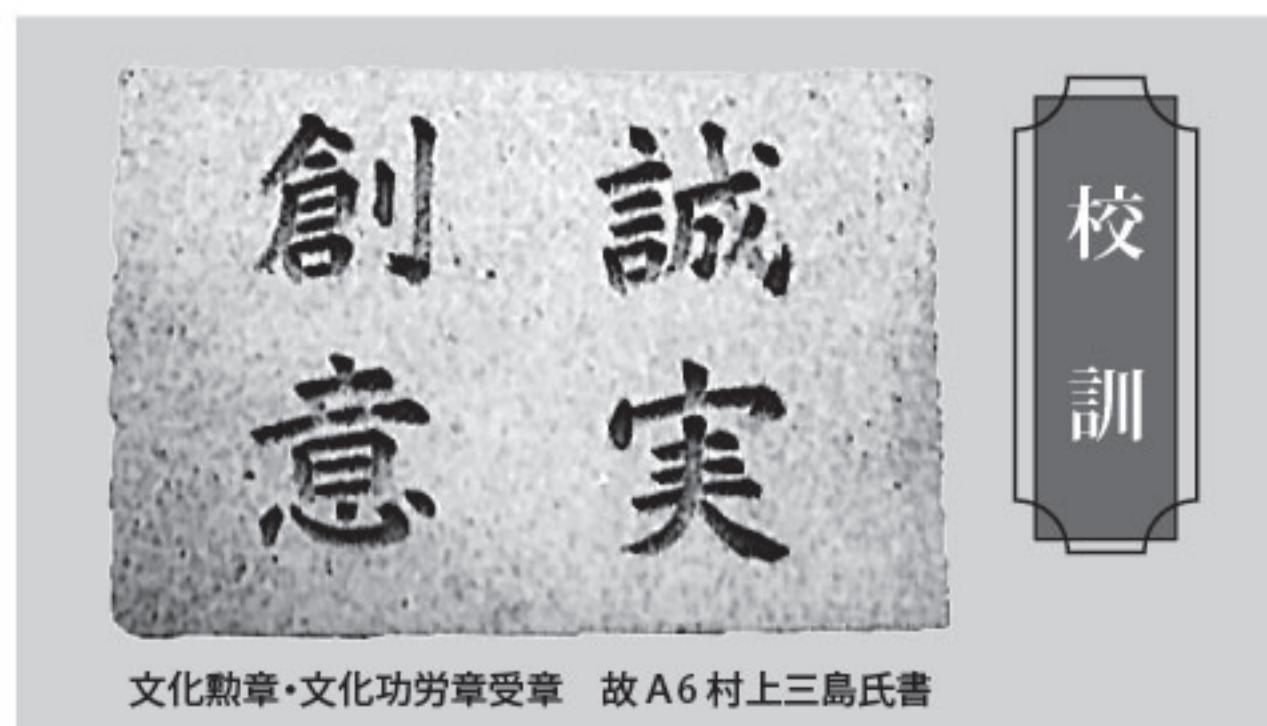


Snap3





Snap4



文化勲章・文化功労章受章 故A6村上三島氏書



(15)白水会最終号



科は違えど同期の桜
心待ちにされてた百周年祝賀会。
きっと西村さんも
一緒に楽しんで下さりますね!



フォトブック *Photo Book*



第11代 我ら濱中校長



第10代 前田校長



E42 戸田会長

ART I



S48 木原副会長



M48 稲地常任理事長



大阪白水会応援団



七科団旗勢揃い!団長は事務局C60長谷川



Photo2





老体鞭うって踊る事務局の長谷川(汗)



観客席と一体になった渾身の三三七拍子!



テニス部OB・OG会



C60長谷川がお世話する最後の硬式テニス部OB・OG会【一次会】

■日時:令和5年10月29日(日)11:00~15:00
 ■場所:泉尾工業高校テニスコート
 (大正高校前に4面)
 ■会費:参加費500円(ボール代等)
 弁当代500円(希望者のみ)
 ※見学の場合は会費は無しです。

お申込みは大阪白水会事務局 長谷川まで
 TEL.06(6552)2221(火・木10~16時)
 o-saka_hakusukai@outlook.com

名	計	A	E	E	E	参加者
上野	14	60	59	54	54	中川
日本						上本先生、S
寺嶋						47
嶺						大野、M
山本						M54
長谷川	62	60	C	56	57	神崎、
十友人						58
洞口	A	63				山本、
甲斐						



昨年も秋晴れの中、泉工硬式テニス部OB・OG会が開催されました。元顧問の上本先生は毎年の参加、今年も雄姿をお見せ下さいました。

次回OB会の詳細が決まります。再度案内させていただきま

としました。次回OB会の開催を楽しみに思っている参加者で楽しく出でます。

母校の泉工も大阪府内の高校統廃合の渦中にあり母校での開催は最後のチャンスになる可能性が高く、是非とも多くの

OB会は是非とも母校との希望が多かったので、今年の11月18日に母校にて簡単な卓球大会プラス大正区近辺での食事会という形式で開催したいと考えております。

コロナの影響で延び延びとなつておりました卓球部OB会ですが、今年の5月21日に「すし半大正店」にて16名が参加し4年ぶりに無事開催することができました。

今日は昼食会という形式で、白水会からの報告事項の後、参加者から其々の近況報告及び今後のOB会活動計画などで活発な意見交換ができ有意義な会合となりました。

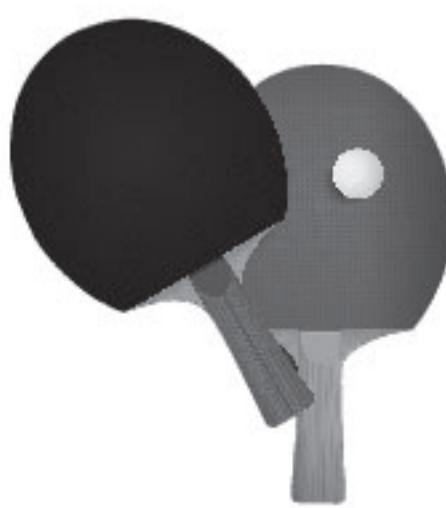
卓球部OB会 幹事一同

卓球部OB会

先をお伝えください。

参加の可否は案内の内容を見てから決めていただければ結構ですので、先ずは連絡の一報をいただければ幸いです。

卓球部OB会 幹事一同



A 32 上田 賢司
お陰様で今のところ元気にプール、
囲碁を楽しんでいます。

A
30 木村 賢司

C 60 長谷川 峰子

記載お詫び

- 氏名
C40 西田繁雄
 - 誤記内容
16頁 会員だよりでの科の間違い
 - 誤→正
S→C

S 44 寺西 悅子

大阪白水会事務局にはお世話になつております。門真市立古川橋小学校の支援学級の介助員をしております。

A 39 南野芳男
100周年おめでとうございます。
泉工の皆様お元気ですか？各社OB
会員5万名のJASSS役員をやつて
ます。

D 45 田中順子
2023年ウサギ年！年女！元気
に飛び跳ねたいです。

E44 三木啓至 創立百周年記念誌ありがとうございました。

C 34 德田耕一
小生82才半ば、毎週1回ハイキング、
墨球を楽しんでいます。毎日平均
18000歩以上歩いています。

E54 市坪 美則
再雇用で頑張ってます。同級生の安藤君は元気にしてるかな?

C47 山下秀雄
除菌関係の家計負担、マスク含め痛いです！いつまで続くのでしょうか？

E平30 長谷川 皇賢
キヤラクター モデラーの夢を実現し、
4月から東京で一人暮らし、毎日疲労
困憊で実家の食事が恋しいです。

○6 長谷川 勤子
初孫が産まれました。皆に孫は可愛いやろ」と良く言われますが、子供達の方方が数百倍手がかかっているので、我子が一番です。

160

A
30 木村 賢司
府立に反対であつた残念です。

S 12 野田成男 令和4年2月22日
103歳にて永眠いたしました。いつも会報を楽しみにし、母校愛のある人で会費・募金もいつも気にかけていました。創立100周年の記念誌も待ちわびていましたが残念です。泉尾工業でのこと、戦争で航空隊で整備をしていたこと等、昔のことほどしっかりと覚えていて良く話してくれました。10月の100周年祝賀会を無事に終われるようにお祈りしています。長らくお世話になりました、ありがとうございました(長女 古川真知子)
S 30 西村圭一 令和4年9月22日
享年86歳、祝賀会への参加を大変楽しみにされていました。

D 20 藤本順三
令和3年11月10日に93歳で永眠しました。いつも母校に思いを寄せてました。長らく会報をありがとうございました(ご遺族より)

D 38 前 晴美
令和4年10月永眠しました。

A 28 松浦 正幸 令和4年7月30日
A 32 亀尾 貴 令和4年7月30日

A
32 谷口 弘 令和元年10月13日
父は御校の100周年記念を大
変樂しみにしており、是非見に行きた
いと申しておりました。卒業式で答辭

を読んだようで、その原稿が残つていいと思うので、それを絶対に見に行くんだと張り切つております。体が弱つてからも、記念式典を見に行くに

いからと、それを励みに日々頑張つておりました。残念ながら叶いませんでした。ですが、きっと空から見ていたように思います。これまでの歴史や伝統とともに

もに、御校と御会が今後ますます発展されることを、父ともどもお祈りしております。ありがとうございました

E
41 島井 豊 令和3年秋

S 12 野田 成男 令和4年2月22日	103歳にて永眠いたしました。いつも会報を楽しみにし、母校愛のある人で会費・募金もいつも気にかけていました。創立100周年の記念誌も待ちわびていましたが残念です。泉尾工業でのこと、戦争で航空隊で整備をしていたこと等、昔のことほどしっかりと覚えていて良く話をしてくれました。10月の100周年祝賀会を無事に終われるようにお祈りしています。長らくお世話になりました、ありがとうございました(長女 古川真知子)
A 32 龜尾 貴 令和4年2月7月日逝去いたしました。	A 32 谷口 弘 令和元年10月13日
E 41 島井 豊 令和3年秋	父は御校の100周年記念を大変楽しみにしており、是非見に行きましたと申しておりました。卒業式で答辞を読んだようで、その原稿が残っていると思うので、それを絶対に見に行くんだと張り切っておりました。体が弱つてからも、記念式典を見に行くにはスーツを来てちゃんと歩いて行きましたからと、それを励みに日々頑張っていました。残念ながら叶いませんでしたが、きっと空から見ていたように思います。これまでの歴史や伝統とともに、御校と御会が今後ますます発展されることを、父とともにお祈りしております。ありがとうございました(遺族より)
D 38 前 晴美 令和4年10月永眠しました。	M 31 原田 弘 令和4年3月
D 20 藤本 順三 令和3年11月10日に93歳で永眠しました。いつも母校に思いを寄せてました。長らく会報をありがとうございました(ご遺族より)	

会員だより

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

令和5年6月吉日

大阪白水会会員 各位

大阪白水会 会長 戸田省吾

大阪白水会 常任理事 一同

大阪白水会 理事一同

大阪白水会の解散のご案内について

大阪白水会は令和5年度を以て解散することを決定しました。

大阪白水会は大正15年10月、母校創立の日から少し遅れて発足し、以来途切れることなく先輩から後輩へ100年の永きにわたって母校発展への物心両面で暖かく支える活動を続けてきました。

しかしながら、平成15年位からリーマンショックによる不況より母校の卒業生徒数も急激に減少して、平成20年には300人から200人に推移し、現在では100人を下回る状況になってきています。

令和4年4月より、これまでの大都市立から府立に学校の運営管理が移管され、令和5年3月に府立の卒業生が誕生しました。

そして、府立卒業生への初めての大都市立の加入説明会を開催しました。『先輩から後輩へ』、『令和4年度入会案内書』の2部を配布し白水会についての説明をしましたが、加入者は1割に満たず、殆どの卒業生が白水会への関心が見受けられなかった。

新規加入者の予納金制度がここ数年の白水会財政の要になっていただけに、財政への深刻的な要因となり、活動の継続を断念せざるを得なくなりました。

以上より解散理由として次のとおり表記します。

- ① 令和4年度卒業生(令和5年4月加入者)の白水会加入者(予納金) 0人
- ② 会則より卒業生よりの予納金返還財源の限界時期
- ③ 白水会活動(会報発行・事務局運営)財源の限界時期
- ④ 府立三工業高校の数年後合併に伴う泉尾工業高等学校の廃校

次に、これまで緊急的に常任理事会、理事会を開催し、白水会の窮状を説明するとともに、解散に伴う償却前の残存している予納金の清算処理の方法および会員への周知活動、そして解散総会への準備作業等、喫緊の山積する課題を解決するための終年にしなければならないと考えています。

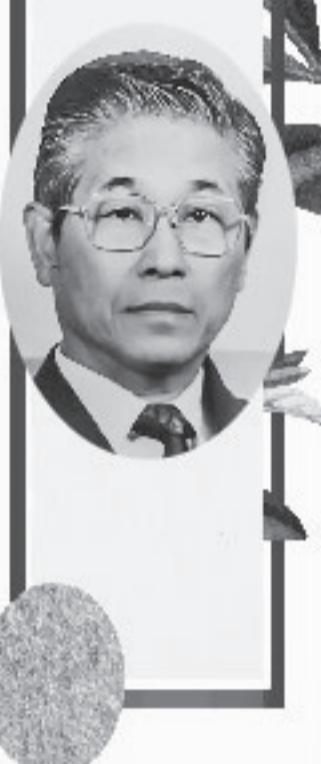
つきましては、今後の主な終年事業として次のとおり表記します

- ① 解散総会の開催 令和5年10月22日(日曜日)
- ② 会報最終号の企画編集発送作業
- ③ 白水会ホームページによる解散周知編集およびホームページ閉鎖
- ④ 白水会会計口座の閉鎖準備予納金の返金 クオカード方式(返納説明文添付)…会報に同封

最後になりましたが、この1年間の白水会活動への会員各位のご理解およびご協力を常任理事および理事役員に頂きますことをお願いしまして、大阪白水会の解散についての序段の説明とさせていただきます。

さようならの彼方に

元校長(A28) 濱中 富二



祇園精舎の鐘の声

諸行無常の響きあり

沙羅双樹の花の色

盛者必衰の理をあらわす

これは平家物語の冒頭である。

伝統校・泉尾工業高等学校の同窓会・

大阪白水会が今年度をもつてその輝かし

い歴史を閉じることになつたのは誠に慚

愧に耐えない。

だが、わが大阪白水会が沙羅双樹の花

ならば、約百年間、華麗に咲き誇つたわけ

で、誠におめでたいと言わざるを得ない。

ここに同窓会紙最終号発行にあたり、

母校の歴史と同窓会の歩みを、出典と記

憶をたどり、沿革史に記載のない事象、特

筆されるべき事ともに焦点を当て沿革史

の補完としたいと考える。

S D C A M E の名列順はどうして起つたか

一 創立記念日と泉尾工の名列表

S D C A M E の名列順はどうして起つたか

この日を創立記念日としたのは意義深い。

旧工業化学科実習棟3階北側に暗室があり、その屋根裏は吹き抜けになつて巨大

な梁が目を奪つていた。

それは巨大なH鋼でその側面にはMade in Germany と刻印されていた。

なぜドイツ製のH鋼が使われていたのかは今となつては謎であるが、おそらく、

大阪市が新たに、府下二校目の甲種工業

学校を設立する意気込みが現れていたのではないだろうか。後年アメリカに日本の

代表的工業学校として母校を紹介してい

ることで裏付けられている。

大正十一年(1922)十月二十日(金)

四月に市岡商業学校内の仮校舎で授業を開始していたが、本館竣工で移転する。

その房の重さで片隅が垂れて校旗が変形

してしまつた。

現在、我々が目に見る校旗は房のない校

旗である(コピーとして作られた2枚目)

生徒各自が椅子机を持参して、甚平渡し(手漕ぎの伝馬船)を利用して、本館に

設置されたため設置順に繋がる)

到着順がその由来である。(M・Eは後年

設置されたため設置順に繋がる)

当時の椅子机は木製の一体型で、相当

な重量であったが、先輩たちはその任によく耐えたと感嘆せざるを得ない。(私が入

学した昭和二五年にその一体型机を使用していた)

多くの大阪白水会諸賢の夢を壊すことを目指すものではないが、中堅技術者養成

を目指していた者として、冷静に考えてみ

たいと思う。

【京都西陣織職人一人が泊まり込んで二週間かかつて織り込んだ】
眞偽のほどは今となつては検証のしようがないが、製作段階を荒く追つてみても影の声に近づくように考えられる。
創立当初から、教員陣は全国から參集を得た、俊秀教員集団だったが、授業を度外視して校旗製作の指導を行つていたとは考えにくい。
尋常小学校6年生の中で、最優秀の児童が入学していたから、その生徒集団は学術・技術的に相当な技術者集団になり得る素質は持つていたと推察できる。だが、西陣織の技術は二歳から一七歳の生徒がそんなんに短期間で習得できるものではないと思考する。
更に、織り糸を染色するにしても相当高度の技量を要すると考えられるし、そのような設備があつたとも考えにくく。
加えて、A科が担当したとされる“金メッキ”にしても、理論的には可能だが、細かなメッキ技術は各社企業秘密で、そのノウハウを簡単に伝授されないだろうし、また、容易に習得できるものではない。
また、原料は相当高価であつたから、西洋に追い付け追い越せを国是としていた當時の世相から、大阪市が財政的に許可しただろうかと疑念がある。
諸賢の推理を願う。

三 ジエーン台風襲来

昭和二五年九月三日(日)大阪湾に上陸したジエーン台風は近畿地方に甚大な被害をもたらした。大正区は三軒家交差点から南は水没状態の感だつた。

勿論、母校はドロ海の中に立つていた。

四日朝のラジオ・BKは(当時のメディアはラジオのみであつた)台風被害を詳細に伝えながら、最後に“大阪市立高校生は全員登校するように”と繰り返している。

交通機関はかなり混乱していたが市電は各所で運転していた。

そんな市電を乗り継いで大正橋までたどり着いたが、その先は泥海で徒步で向かうしかないかと躊躇していたら

市電の監督官が

「どこの生徒か?」

とかなりきつい口調で訪ねられ

「泉尾工業高校です」

と答えると俄かに言葉使いが改まり

「千島町まで軌道を避け、車道を歩きなさい。

その他の道はマンホールが空いていて危険だから」

軌道はなぜ避けねばならないのか?と質問する雰囲気でもなかつた。

ズボンを脱いで頭に括り付け、靴を履いたままそろそろ歩き出した。

やつとの思いで正門にたどり着いたら2階のバルコニーに居られた故敷本義雄先

生が大声で

「何しに来たあ!帰れつ!」

ラジオの件を話すと

「学校は見ての通り。授業はないから帰りなさい」

A科の1階実習室や薬品庫は約1米の浸水で他科の実習棟も同様の被害を受け

いた。

未使用の、多くの薬品瓶は蠟封されて中身は健在ながら、ラベルが剥がれ落ちて品名が判然としないものが夥しい数に上つていた。

授業再開と同時に実習といえればこれら被害薬品のオール分析であつた。

専門書を紐解きながら分析し品名を特定して報告すれば、厳しい質問を浴びせられ、やつとオーケーをもらうと次の分析に取り掛かる。

この過酷な実習が内容を異にするが、各科共実施されそれぞれの専門分野における大いなる糧になつてゐた。

「泉尾工業高校です」

と答えると俄かに言葉使いが改まり

「千島町まで軌道を避け、車道を歩きなさい。

その他の道はマンホールが空いていて危険だから」

花 だつた。

淡い恋物語だが、女生徒が在籍しないから、かなりの娘役は級友が演じていた。

なかでも後年、白水会東京支部長になった丹羽富造君演じる主演・娘役にはヤンや

の喝采があつまつた。

歌舞伎は化学機械科三年生演ずる 歌舞伎一八番・勧進帳 である。

前年の文化祭では歌舞伎一八番・鳴神を上演しその完成度は高校演劇の域をはるかに超えていた。

勧進帳も商業演劇に匹敵する出来栄えであった。

ただし、見せ場の義経が舞う『延年の舞』は『さくらさくら』であつたが、大阪放送局で録音され、後日、N H K・B B から全国放送されたことは特筆に値する。

(2)創立三十周年記念式典並びに新校歌制定

昭和二七年一〇月一七日(金)(大手前会館 現ドローン大阪)

1 都島工の同窓会・一般社団法人浪速工業会には同窓会館があるが、旧大阪市立工業学校と共に母体とする、泉尾工同窓会・大阪白水会はない。

2 理事会で発案後多くの賛意を得たが、大阪市の教育界を揺るがす“私費負担軽減運動”で会館建設ムードには逆風となり、常任委員会では成案が得られなかつた

3 少し遅れて、臨時教育審議会(臨教審)

から「高校に進路指導主事を置き生徒の進路指導を任務とする」との答申が出された。

4 この答申は将に追い風になつた。当時の進路指導課は電機科棟の2階の生活指導課に同居で、企業からの来客には別室へ案内するような状態であつた。生徒指導上にも問題があつた。

5 常任理事会で創立五〇周年記念事業として母校に教育施設(進路指導室)とし

以上のように創立三十周年記念諸行事は二年間に亘つて挙行された。

歌舞伎俳優・中村扇雀の日本舞踊

五 創立五〇周年記念
大阪白水会会館建立

詳細については

令和元年九月発行の大阪白水会報五ページ

『特別寄稿 創立50周年記念館 大阪白水会館の誕生と歴史 頭末』

を参照されたいが、ここでは概略を再掲したい。

歌舞伎は化学機械科三年生演ずる 歌舞伎一八番・勧進帳 である。

前年の文化祭では歌舞伎一八番・鳴神を

上演しその完成度は高校演劇の域をはるかに超えていた。

新劇は工業化学科二年一組の ヘチマの

新劇と歌舞伎で全校生徒が観賞した。

四 アトラクション

歌舞伎俳優・中村扇雀の日本舞踊

歌舞伎俳優・中村扇雀の日本舞踊

6 母校創立五〇周年記念館(仮称)建設概要

・建設時期 昭和四七年未完成

・建設場所 物置小屋(旧校務員室)撤去跡地

・規模 軽量型鋼(H鋼)イトン張り三階建

一階 同窓会室・職員研修室

二階 進路指導室

三階 視聴覚教室(アクセス外階段)

渡り廊下設置(本館・二階南西階段付近から)

建設資金 大阪市教育委員会(額不明)

大阪白水会創立五〇周年記念募金 900万円

記念館建立には当時の故長野忠雄校長・能城正治教頭先生には市教育委員会との折衝で随分ご苦労をおかけした。

特に長野校長は翌年定年を待たずご退職になられた。

先生は退職挨拶を含め公・私的にも多くは語られなかつたが

『私費軽減は時代の要請である。また、外郭団体から教育施設提供等は厳に自肅しなければならない。然るに在任期間中に厳しい時代の要請に反したことは慚愧に耐えない。

校長として出處進退を自らに課さねばならない』

このようなお考えがおありだつたのではないだろうか。

社団法人全国工業高等学校長協会の重

鎮として、我が国工業高等学校教育推進に大きなお力を發揮されていたのにと、全

国の工業教育関係者から惜しむ声が寄せられた。

同窓会館建設の大義があつたとはいえ、教職を全うすることを断念されるように仕向かた我々は大いに反省しなければならぬと感じた。

(以下割愛)

六 NHK・TV放映と公的職業取得推進

昭和五六六年四月 公的職業資格推進教育

全科に広がる。

全教職員の協力のもと専門科を超えて、広く公的職業資格取得推進授業がすすめられた。

正規の授業外講習となるため、各科独自に「7限目」を設け、在籍科を問わざあらゆるライセンス取得に挑戦していた。

そんな折、NHK・TV大阪放送局から取材申し込みがあり、

『今、工業高校では』のタイトルで各科実習事業であった。

風景等を収録し、故藤倉文雄校長のコメントも大きく取り上げられ、同年6月末、午後六時四五分から約5分間放映された。

これには、A35・故多川碩一氏(NHK大阪放送局・TV報道部勤務)のお力添えが大きかつた。

このライセンス取得教育の推進とTV放映を機に生徒たちの学習意欲が高まり、

問題行動の生徒数も激減し、企業への就職率も大阪府下で上位に上がつていった。

七 創立七〇周年記念

文化勲章受章 村上三島氏 記念揮毫

ファッショニ工学科誕生

創立七〇周年記念式典を控えた五月初旬、のちに文化功労章並びに文化勲章受章の故村上三島氏(A6)のご自宅に、故松田利三氏(D7)・高野国博先生(A33)に同道を頂き、母校創立七十周年記念の揮毫をお願いした。

併せて、故松田利三氏によって手ぬぐいに染め上げ、記念品とする事も快く了承していただいた。

それが校長室に掲額されている

加除訂正を考える諸賢も多いだろうが、粗略な検証を試みた。

紙面の制約もある事とご寛容されたい。

さよならの彼方に

結びとして

甲種工業学校の流れをくむ名門・泉尾工業高等学校百年の沿革を俯瞰し、極めて

歴史の陰に隠れた母校を

紹介するも一興なり

私は

時に集めて 杯重ね

誓おうではないか 結束を

時に集めて 杯重ね

絆を確かめよう

歴史の陰に隠れた母校を

偲ぶのも一興なり

我々は

大阪市立泉尾工業高等学校よ

大阪白水会よ

サヨウナラ

とは決して言わない

いた、故六辻丈夫先生を中心に、両科の職員が粉骨碎身で新学科のカリキュラムの編成や施設・設備の新設・更新に勤しんでいただき、極めて短時日で、新学科・ファッショニ工学科の誕生をみたのである。

新年度から纖維工業科、色染工業科の募集を停止した。

最後のお礼

大阪白水会常任理事長

稻地 幸雄

大阪白水会会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？

戸田会長のご挨拶にもありましたように、本年令和5年度を以ちまして大阪白水会(大阪市立泉尾工業高等学校同窓会)を解散する運びとなりました。会員の皆様が母校泉尾工業高等学校に対し、長きに渡りご支援ご配慮を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

私自身も、戸田会長(E42)はもとより木原副会長(S48)や常任理事の山口さん(E41)・朝倉さん(A43)・山本さん(E56)・長谷川さん(C60)や理事会員の方々に支えられ、大阪白水会常任理事長の役職を全うすることが出来ましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

会員一人一人が母校泉尾工業高等学校に対する思いは数知れないほどのことでしょう。そうした中で大阪白水会が皆様一人一人に寄り添ってきたのです。ですが、仕事や結婚して子

も事実であります。そうした繋がりがあったこそ、100年以上もの歴史が刻み込まれて來たのであります。そのことを踏まえて私自身、大阪白水会で学んだ事を拳拳服膺し、今後の人

生を歩んでいきます。

最後に『大阪白水会は、101年の歴史と共に永遠と私達の心に残ります。』

皆様、お元気で。さようなら。令和5年(2023年)9月吉日



て頂いたのですが、そのとき学校のイベントで、白水会の会長と直接お話する機会が何度かあり、そのご縁で、息子の卒業

PTA会長をさせて頂いたときにはPTA役員、息子が3年時には

時間が経ち、娘が入学したときにPTA役員、息子から足が遠のいてしまいました。



白水会

大阪白水会解散に思うこと

大阪白水会常任理事

E56 山本 幸治

理事としての主な活動は、総会の開催、学校や白水会会員の皆様の現状を知らせる会報の発行などが、その準備にどれだけの時間と労力が使われているのかを改めて実感しました。

会長をはじめ、歴代の理事を務めてこられた先輩方など、皆様には頭が下がる思いです。

最後の大坂白水会、会報淋しく思う

【近況】 毎月二回、自然大学校・スバル、で勉強。交野里山の竹工作、に参加しています。仕事は、私の会社の雑用、車の運転、道具の整理、書類の整理、をしています。

【心に残る言葉】 苦あれば楽あり。
一生懸命していると、楽が、訪れる。



匠の技で、未来を築く
益田建設株式会社

代表取締役会長 益田 治 (昭和37年喫業科卒)
〒554-0013 大阪市此花区梅香2丁目2番17号
TEL (06) 6461-5212 FAX (06) 6461-2420
E-mail : masudakensetsu@nifty.com

総会では、参加者の皆様が何歳になつても、高校時代の話で盛り上がり、校歌や応援歌を口ずさむ姿、笑顔で会を過ぎられる様子に、開催して良かったといつも思いました。

100周年の事業もあり、これまで以上に頑張ろうと思つていた矢先、コロナ禍にみまわれ、総会も中止を余儀なくされました。

その頃、本校も市立から府立に移管されることとなり、100周年事業自体も一時は危うい状況となりましたが、

戸田会長指揮のもと常任理事と事務局で、リモート会議を重ね、理事の皆様の協力のもと、一年遅れで100周年祝賀会を無事開催することができました。そのとき、参加者皆様からの沢山のお礼やお褒めのお言葉頂戴したこと、本当に嬉しく思います。

100周年事業も終わり次の課題は、白水会の解散についてでした。

戸田会長も大変ご尽力され、関係各所に働きかけ存続を図りましたが、予納金が入らず、数年後には府立三工業高校で

合併し、泉尾工業高校の廃校が予定されているということがあり、断腸の思いで解散のご決断をされました。

私達常任理事も会長の決断に同意のもと、解散に向け、リモート会議を重ねて理事会で同意を求めました。

もちろん解散に反対するご意見もありましたが、理事会決議により解散する運びとなりました。

一方で、泉尾工業高校で学び卒業できること、大阪白水会の常任理事を任せて頂き、戸田会長をはじめ、泉工卒業の先生方、理事の先輩、後輩方とお仕事出来たことは私の誇りであり、かけがえのない財産です。

思い出の大坂市立 泉尾工業高校と

M46 井口（饗庭）忠

泉尾工業高校のある大阪市大正区は、三重県から転居して初めて住まいした大都会、そこで初めて通学した学校は南恩加島小学校、住まいは、大正西中学校近くで1年間生活し、東住吉区瓜破に転居。瓜破小中学校を卒業、昭和43年3月憧れの工業高校を都島工業高校と比較して泉尾工業高校の入学試験を受験し、3月19日合格通知により入学、不安な心と希望に溢れ化学機械科に入学、旧レンガ校舎の窓枠改修時の窓のない校舎と

残りの時間、解散式に向けて悔いのないよう全力を尽くして参ります。最後になりましたが、これまで関わって下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

井口（饗庭）忠

の後の中学校生活は、変わりました。同級生との思い出は、「親を悲しませるな」により、その後の学校生活は、変わりました。同級生との思い出は、香山登君の自宅から通学したことなどが強く印象に残り小田原大造君、バレーボール部の宇野達雄君、サッカーチームの尼野輝雄君、剣道部の植西輝吉君などと思い起こせば尽きません。先生の思い出は、一年の担任松澤義平先生、大阪・綾井・小谷先生そして新任で友達みたいな門野利正先生、家も近く自宅の喫茶店を見に行つた思い出等多くが思い出され懐かしく感傷に浸ります。

三年生の時に泉尾工業高校の伝統と五〇周年行事が卒業後実施される伝統の継承の大切さの教育も受ました。昭和46年卒業時、先生方の努力によ



り新し校舎の思い出が強く記憶に残り思い出の友、井上睦夫君、井内房夫君、小島雅弘君、平居信一君、とはタッチフットボール部で3年間楽しく活動した事の思い出がよみがえり懐かしく回想しています。高校生活は、成績不良との停学処分と先生の一言「親を悲しませるな」により、その後の学校生活は、変わりました。同級生との思い出は、香山登君の自宅から通学したことなどが強く印象に残り小田原大造君、バレーボール部の宇野達雄君、サッカーチームの尼野輝雄君、剣道部の植西輝吉君などと思い起こせば尽きません。先生の思い出は、一年の担任松澤義平先生、大阪・綾井・小谷先生そして新任で友達みたいな門野利正先生、家も近く自宅の喫茶店を見に行つた思い出等多くが思い出され懐かしく感傷に浸ります。より令和3年7月29日の母校訪問が実現し対応に深く感謝申し上げます。

自宅滋賀から2時間、50年ぶりのJR大正駅から商店街経由の通学路に思い出を辿り、大阪府内の町工場を転々としました。その後兵庫県にある富士通の下請けに就職、昭和47年6月からは、無職で住所不定の3ヶ月を過ごしました。9月に自衛隊の自衛官募集に応募し、住所不定、卒業証明書の交付を公的機関から母校へ受け、自衛隊入隊を報告出来ないまま四十年の自衛隊生生活の間には、高校の先生の指導の思い出や生活の基本を思い出だし定年まで勤務しました。六十歳にて叙勲で皇居において平成天皇に拝謁し人生のひと区切りの中、人生振り返ると思い出されるのは、懐かしい「泉尾工業高校」不義理の自分を恥じながら意を決し事務局に連絡事務局のご厚意にいだし定年まで勤務しました。と区切りの中、人生振り返ると思い出されるのは、懐かしい「泉尾工業高校」不義理の自分を恥じながら意を決し事務局に連絡事務局のご厚意にいだし定年まで勤務しました。より令和3年7月29日の母校訪問が実現し対応に深く感謝申し上げます。



担任印は松澤先生

移り変わりを実感し暑さの中、休憩を挟んでの道のりで人生の分岐点の記憶辿り、泉尾工業高校への思いと長野校長、松澤担任とお世話になつた先生の思い出が重なり泉尾工業高校の化学機械の特殊な教育内容で他の人と違つた価値観思考で育んだ「泉尾工業高校」への思いは募り卒業写真を眺め友の現在を思い浮かべ五十周年の「白水会会員名簿」泉尾工業高校の思い出がよみがえり今を見たいはやる思いで商店街を歩き走馬灯の

様に思い出がよみがえり懐かしく感情に浸り母校に到着、泉尾公園の整備された状況に感激しました。タッチフットボール部の練習を思い出し、同じクラブの同級生、友人、先輩を思い浮かべ、記憶をたより正門に向かいました。思い出の正門は無くなりグランドのフェンスがあり建物は西に移動し昔の面影無くクラブの練習グラウンド泉尾公園に面した通用門が正門になつて正門脇には、第二高廃止の碑があり恩師の言葉「昼間は仕事に励み修学の志

が高い生徒の邪魔をするな」が高い西校舎が古びて輝いていました。入学当初の窓枠の無いレンガ造りの本館食堂武道場体育館各科の建物実習場は、すべて建て替えられますが50年の歳月永さを実感しました。今思ふ、卒業生の会、大阪白水会の大切さやその功績により最終学歴となつた卒業生の心の故郷泉尾工業高校に思いに浸り恩師の教えの正しさを痛感し、現在の高校の現状を理解して存続希望の思いを強くしました。現在の職員室前に正門に有つた卒業クラス写真に写る

「ライオン」と初代校長の胸像がありレンガ造り校舎の思い出がよみがえりしました。訪問をきっかけにより強く3年間スが正門になつて正門脇には、第二高廃止の碑があり恩師の言葉「昼間は仕事に励み修学の志

が高い生徒の邪魔をするな」が高い西校舎が古びて輝いていました。入学当初から有るのは、真新しい西校舎が古びて輝いていました。入学当初の窓枠の無いレンガ造りの本館食堂武道場体育館各科の建物実習場は、すべて建て替えられますが50年の歳月永さを実感しました。今思ふ、卒業生の会、大阪白水会の大切さやその功績により最終学歴となつた卒業生の心の故郷泉尾工業高校に思いに浸り恩師の教えの正しさを痛感し、現在の高校の現状を理解して存続希望の思いを強くしました。現在の職員室前に正門に有つた卒業クラス写真に写る

「ライオン」と初代校長の胸像がありレンガ造り校舎の思い出がよみがえりしました。訪問をきっかけにより強く3年間

最終白水会報に よせて

A 43 朝倉 則男
大阪白水会常任理事

早いもので大阪白水会も百周年の長きにわたり大阪市立泉尾工業高校のO B会としての役目を勤めてきましたが、今回をもつて解散することになり、白水会報も最終号となります。私は平成29年同窓会を開くにあたり、43年卒の工業化学科の生徒の住所調査のため事務所を訪ねました。それから事務所に時々訪れるうちに、白水会の手伝いを言われて現在に至ります。白水会の世話を人として6年間携わり、

毎年の総会と百周年記念事業式典と祝賀会のお手伝いができてよかつたです。後に、戸田会長と常任理事の方々と事務局の長

谷川さんには色々と尽力を賜りお礼を申し上げます。

白水会

又「心の故郷」母校「大阪市立泉尾工業高校」「人生の指針」卒業生の心の会「大阪白水会」としたい思いです。

母校「大阪市立泉尾工業高校」不滅です。卒業生の会「大阪白水会」は、解散しても心に永遠に続きます。人生心の故郷、永遠にガンバレみんな

式典と祝賀会のお手伝いができてよかつたです。後に、戸田会長と常任理事の方々と事務局の長谷川さんには色々と尽力を賜りお礼を申し上げます。

6人制バレー ボールへの挑戦

A 39 酒井二郎

泉工バレー部の活躍はS30年代前半から始まり、大阪の強豪校として幾度となく全国大会に出場、その原動力となつたのが、『厳しい練習の鬼』と言われた故水谷先生の指導で、それに喰らいついていった先輩、後輩の皆さん努力と精神力に敬意を捧げます。S37年度岡山国体で従来の9人制から国際方式の6人制に切り替り、バレー界の大きな転換期になりました。新チームは国体出場の目標に向かってスタートしますが、複雑な新ルールに四苦八苦、おおきな壁にぶち当たります。

ローテーションでポジションが解らず、コートを右往左往、先生が考案した新しい技、バックアタック、平行トスからの速い攻撃、二チボーカル塚が得意とした、回転レシーブなどを短期間でモノにする特効薬は無く、ひたすら猛練習でとにかく経験を積むしかありませんでした。最後



第十七回岡山国体
津市鶴山競技場入場行進
先頭 納木主将(3年)、奥野副将(3年)、
酒井(2年)、元木(2年)、橋本(3年)、
東(3年)、塙(3年)、金井(2年)、
今井(2年)：

泉工バレー部の活躍はS30年代前半から始まり、大阪の強豪校として幾度となく全国大会に出場、その原動力となつたのが、『厳しい練習の鬼』と言われた故水谷先生の指導で、それ

連日の激しい練習に耐え、気力根性で最後まで持ちこたえたことは今もなお語り草となっています。迎えた大阪府予選は順調に決勝戦まで駒を進め、ライバル校の堺商業高校と対戦。チーム力は互角で1セット目から激しい攻防で息詰まる接戦がフルセットの末、ジュースまでもつれ込む展開となり、マッチポイントはエース奥野選手の渾身の一打で勝利、日頃の練習で拾つて継ぎながら泉工バレーが出来たこと、気力とチームワークの力が相手を上回り、最高の喜びを味わいましたが、各選手の持てる力をフルに発揮させることを導いた先生が一番喜んでおられたと思っていました。予選後、先生からのサプライズ！ 東洋の魔女ニチボーカル塚チームとの合同練習を設けてくださいました。体育馆に入ると、もの凄い練習の迫力に圧倒され、足がすくんだことを覚えています。現在、定期的にOB・OG会を開催(発足時は先生のニックネーム、カエル会、途中から女子バレーも合流)思い出話に花を咲かせています。



私と大阪白水会

D 38 山本健一



私は昭和38年色染工業科卒業、当時は男子ばかりの市立工業高校でした、その頃は就職求人も大手紡績、化学薬品会社他、織維加工工場等々で、一人5~6社の引く手あまたでした、私は子供時代から色彩に関心がありましたので、学校授業実習や実験に興味もあり織維染色加工工場に就職、ファッショング業界に少しでも貢献出来る様、加工技術をマスターする為工場加工作業と試験室に専念し又夜間は、高等技術者研修デザイン学校、ECC語学、海外視察等日々忙しくしてい

る時に、唯一心の支えとなつたのは大阪白水会から発行して頂いた「白水会会報」情報でした、当時の学校長の挨拶始め教職員の方々の活躍とご苦労又、

各科授業内容他クラブ活動の報告等々、特に入部していた友と個々親睦深める折、還暦前から同窓会を年一回行う様に永久幹事を依頼され、母校の情報収集の為に白水会役員理事會と関連行事に参加出席する事で、各科、各クラブ毎OB・OGの皆様より情報を頂きました。会合後も親睦を深める事が出来有意義な時間でした。

泉尾工業高校の廃校に伴い大阪白水会も解散となる事は非常に残念な事です。結びになりますが、私も今だ現役で仕事が出来て、大阪白水会を永長きにわたり大阪白水会を永続して頂きました会長をはじめ執行役員、事務局又役員理事の皆々様におかれましては、大変ご苦労とご協力を頂き誠に有難う御座いました。



創立100周年に 思う!

M38 泉谷 忠成

社会においても市場環境の変化が激しく、将来の予測が困難な現代は「VUCAの時代」(先行き不透明・将来の予測が困難な時代)とも言われています。そうした中で変化に適応して新たな価値を提供できることで、いくつ必要があるのかもしれません。又、変革を実現すべく積極的に

DXの普及加速(デジタルツイン)を推進している企業も今後増えて行く事でしょう。話は戻りますが、高校時代に学んできたことは決して消すことはできない、積み上げてきたものが土台となって新しく成長させて頂いた、と感謝しています。時代は多様性を求める進化成長していくのは当然の事。私は学んできたことは教科書を読む事だけでなく生き方を学んできた、と思っています。

お亡くなりになられたとのお話し、私のブログを「墓前にお供えさせて頂きました」と感謝に堪えないお言葉まで頂きました。

国葬できるんやから、遠慮して延期してた同窓会1人でも多くの出席お待ちしております。の案内状と共に令和4年12月4日大阪、福島にて3年ぶりに開催いたしました。

携帯電話、SNSを使い最近の状況や写真を送り合い懐かしさより身近さの同窓会でした、今回出席できなかつた友達もLINEであつたりハガキであつたりと各自の人生を楽しくすごしてることを確認し一次会二次会のカラオケを経てまたの再会を約束して別れました。



私の在学当時40周年(60年前)、担任は松沢先生、家内と共にお家の方にお伺いした事もあります。そん

うございました。
感謝!感謝!

古希同窓会

色染科46 松本 こづゑ 小路 謹子

月4日大阪、福島にて3年ぶりに13名(女子7名男子6名)にて開催いたしました。



くに渡つて書かせて頂きました。同窓会事務局の皆様の献身的な努力に心から感謝しています。本当にありがとうございました。

ブログを三年近くに渡つて書かせて頂きました。泉尾工業高校100周年、進化成長、大きく発展され行くことを願つてやみません。
感謝!感謝!

感謝!感謝!

もLINEであつたりハガキであつたりと各自の人生を楽しくすごしてることを確認し一次会二次会のカラオケを経てまたの再会を約束して別れました。

剣道部の思い出

化学M46 植西 輝吉

私は泉尾工業高校に入学前から、剣道部の稽古に中学校の先輩（E科山下さん）から誘われて参加をしていました。当時の剣道部は試合に出れば負けばかりでしたが、稽古だけは頑張りました。2年生の時は3年生が一人（山下さん）だけで2年生が主体で試合に出場富士伸銅（現在 合併等で社名は不明 住友系列）の招待試合もリーグ戦全敗（すべて本数負け）試合後の出場チーム（12チーム？）による反省会で山下さんが、今年は全敗でしたが来年はきっと優勝してくれると思いつと話して失笑を受けましたが、翌年は優勝できることができました。市立大会の団体戦は2年時優勝、3年時は団体戦優勝 個人戦は1年後輩の相良君が優勝、私は準優勝（辻村先生に叱られる）女子も個人戦（団体戦は無し）を優勝と準優勝で完全優勝を成し遂げました。

又、インターハイ予選会、大



L学園にやぶれましたが、私たちの時は、七時間授業や第二工業高校の関係で稽古時間が規制された中で良く頑張つたと自画自賛しています。

卒業後は森下仁丹（現）に就職（当時、剣道連盟事務局が敷地内にありました）そこでは素晴らしい先生や泉工の先輩方（戦前、戦中、戦後）山崎先生、中山先輩、三原先輩、辻村先生、山畠先輩、越先輩、森田先輩等々きりがありません。楽しい後輩達にも恵まれて今も稽古に励んでいます。今年は「ねんりんピック愛媛大会」に大阪市チームの副将で出場します。

これからも、家族の協力を得ながら、健康に留意して稽古を続けていきたいです。



昭和42年新聞切り抜き

アトリエにした私

C42 田伏 勉

独立美術協会会員
日本美術家連盟会員
クレパス画家

時代の変化の渦の中にいます、

思い出は56年前のことです僕は

親の勧めで泉尾工に入學はしましたけど、窯業の意味も分からず、毎日が面白くなく、そのころは親に逆らうこともできず悩みつ

ぱなし、中学校の時の担任の先生に相談に行きましたが何ら解決しなかつた。

もともと絵が好きで画家志望でしたが周りの反対は大きく反対の意味が分からなかつた。古い校舎の一階に美術部の部室があり前を通るたびに迷いながら勇気をもつて入部しました。

関西水彩展入選
3C 田伏 勉

◆ 美術部 ◆

美術部の3C・田伏勉君
入選!
去る9月9日～16日に市立美術館にて、関西水彩展が開かれ、「一般の部で3Cの田伏君が『夜の園々』という画題で出品し、入選しました。

私の大きな一步、水を得た魚のように毎日が楽しく絵を描くために学校に行く気持ちでした。

た。

京都にピカソ展を見に行つたり、天王寺美術館に各展覧会を行つたり毎日が刺激的でした。

思い出の写真は美術部で箕面の滝にハイキングした時です。右は学校の新聞に載せてくれた記事です。これが新聞やマスコミに載るスタートになりました。

僕が74歳ですからみんな70代会いたいけど住所も分からなくなつてます。これからの人々みんない時間過ごしました。

なくなります。生きられない時間を過ごしました。

ト16)でインターハイは準決勝、

府下大会は決勝でいずれもP

会費・寄付納入者一覧

令和四年度

令和4年6月～令和5年7月締切分

(敬称略)

S 紡績・織維工業科
■ 五、〇〇〇円

F ファッション工学科
■ 五、〇〇〇円

令3高橋礼

45 44 44 43 42 42 40 38 32 ■ 51 48 48 46 44 43 43 38 12 ■ 63 57 40 ■ 30 ■ 27 ■ 五、岡
梶寺岩嶋中中嶋中近 中松清山岩白齊川久野 村勇磨 西
浦西本田村尾田尾藤 尾嶋水田崎岩藤森田田 上田田 村
俊悦久一憲義敏忠円 美伸弘信勇孝 実 愛勇成円 達洋昭 圭 和
仁理昭子子美重博 孝雄 幸枝恵夫次一 子助男 夫伸男 一 幸

45 43 41 38 38 38 35 ■ 45 43 42 40 39 38 32 ■ 平 38 29 ■ 40 39 37 ■ D 色染・色染工業科
田岩岩広二西野 小兵田石佐十堀 新山瓜 五、岡 中中
中本城瀬宮村口 森藤代戸原川 子本坂 田尾村
順悦剛之昭雅勝円 久雄文和 征義泰健元円 政弘久円

子子彦男晴男 子二代隆 洋憲 右一 男正住 ■ 49 48 47 47 45 45 45 45
37 ■ 56 43 42 ■ 38 ■ 43 ■ 60 ■ C 窯業・セラミック科 ■ 61 59 50
高浦高禰 五、谷 福 小 ○、セラミック科 竹川邑武安森沖石喜島松藤永小福嶋 楠大畑
松野野井 口 池 田 ○、セラミック科 内内智田藤 井瀬崎田下岡林森 本山山
勝豊和義円 猛 新 和円 和円 隆宏信和彌福康勉 乘南直 正永文 豊 雅君初
行徳一彦 史伸惠代子子江 恵夫久 滉典夫 人江子

40 28 ■ A 応用化学・工業化学生科 60 47 45 44 44 42 41 41 41 40 38 38 37 37 34 34 31 31 30 ■ 46 40 39 33 33 32 30 ■ 48 46 42 41 39 38
熊濱 ○、化学生科 松山金三沖平中久泉西大東益福堀徳平大橋 永橋藤小木宮岡 今垣稻穂森小
田中 ○、化学生科 田下井浦本田居井 田杉 田田 田尾江本 吉本本谷内 部 村沼荷本永森
俊富 ○、化学生科 哲秀禎由 仁章 德義登繁雅秀 利信耕武 隆円 盛恵喜一政秀光円 陽佳俊正常
夫三 成雄治清 夫夫夫雄康雄 明夫一義 治 光治男郎雄多宏 輔樹和園司

32 31 30 ■ 61 47 38 47 45 45 43 42 42 41 40 35 35 32 32 31 28 ■ 53 46 45 40 39 37 36 33 32 32 31 30 ■ 56 45
今川木 一 武小幸林豊岩今朝山水石徳中戸大渡上脇斧 小白北箱南宇稻山和松津市 五、石西
井端村 富川 島倉村倉本見原島沢田杉辺田 原 路崎田田野宮葉畠崎井田山 井岡
真賢円 弘一郎司 政俊豊圭良和 正則政諭孝金勝 嘉賢陽円 雅金芳正十阿八靖義輝円 三俊
彦彦彦治次男 男和史一郎 裕郎司 五明裕郎司 進三彦郎 進次薰稔 男則茂磨藏男貞夫 恵子和

33 32 32 32 31 31 28 28 28 28 27 27 24 16 ■ 平 3 52 51 50 48 45 43 43 43 42 42 41 41 41 40 40 38 38 35 32
梶辻玉 乙龟河大荒杉桑門岡犬新吉下長大 志藤芝中松長津嶋大高朝山山藤祐浅中奥原小
野西 遺族様より 尾合浦木野田 田飼井田山井嶋 野西 浜村副川浦島橋田村口谷伯見尾野 嶋
勝欣義 利貴明 健人雄 雅道進功 文充 鎌時克健隆円 元昭伊康昌和淑博政吉健清邦信正 真守
司勇光 彰彦弘 吉雄美三造 信夫子仁代正子人治男藏郎弘男夫 生士

平 7 51 51 51 49 48 47 47 46 45 44 43 43 42 41 41 40 40 40 39 38 38 37 36 35 35 35 34 34 33 33 33
森土田阪福岡小亀山長吉林福山浜馬北今西河池高南坂木谷要丸寺郡上濱畠持松津住
井辺口田部山岡地川村 田口田場本井尾村田元條井村 橋田 田口 永本田野
和ちどり子園 美篤幸満高英康時律昭 憲貴隆和亮尚美正紳義喜浩健暢満音福勝
哉り子園 恵子嗣二郎雄 四徹志雄信子光 一二司彦一之司一 貢嗣朗彰三睦郎一義平治

37 37 36 35 35 35 35 35 35 34 31 30 24 ■ 40 38 35 ■ 48 47 47 46 44 39 39 37 37 ■ 51 ■ 36 35 ■ 39 ■ M 化学機械・機械科
松間増大山松樋三神岡安蔭平永諸 三泉矢 山東北勝饗大米金前寅 島一内金和
田田部原田野府田村芸山井沼山 宅谷田 田村村浦庭川川森川本 川四藤高田
茂文義征正博清義功康止利公登 孝忠円 善行政美金正佳円 景武円 芳円
彦雄郎幸治司和治弘男一 史成 寛朗雄明忠彦淳四郎和明滿雄

41 41 41 41 41 ■ 49 47 44 43 41 41 ■ 56 54 49 45 42 41 ■ 42 ■ 平 14 ■ E 電気科
福奈小河片片 池松酒東山足 山市西篠勇玉 戸矢五、岡
永古山村山山 田村井本口立 本坪 藤崎置 田合
哲幸昭保卓年円 隆恭吉 實登 幸美利務 憲円省裕円
哉春治志治久 人二 司治則 雄治吾介

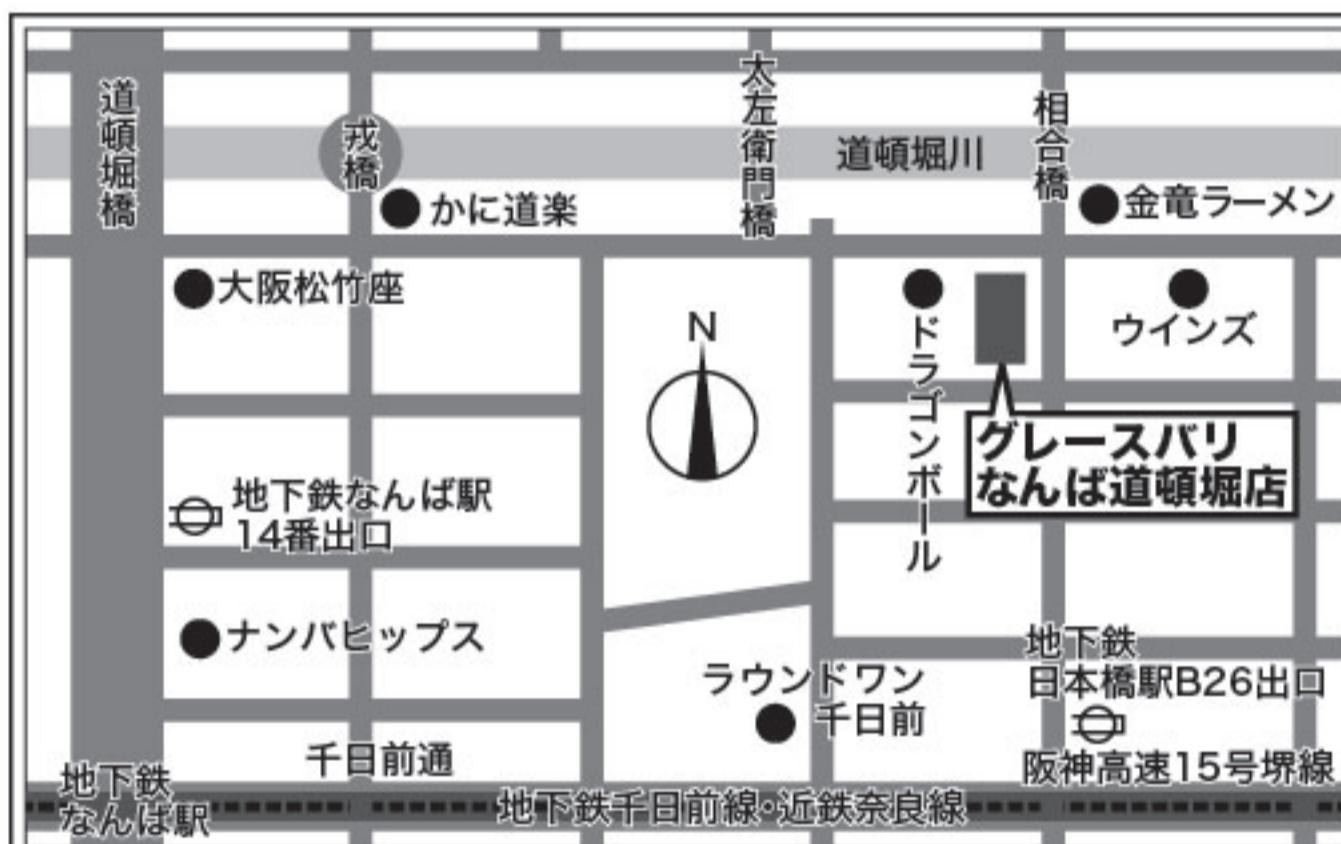
大阪白水会解散総会のご案内

大阪白水会はこれまで、クラブ活動や、クラス別同窓会など会員相互の親睦会へのサポート活動を積極的に推進し、多くの会員に喜んでいただくことができました。

本年10月に開催します総会が大阪白水会として最後の総会となり、多くの会員の皆様方の交友を深め、末永く心の支えとなるための『お別れ総会(仮題)』とさせていただきます。

つきましては、下記の要領で開催しますので会員相互へのお声掛けにより、多くの会員のご参加をよろしくお願ひいたします。

- 開催日時 令和5年10月22日(日)
- 受付時間 午前11時30分~



■グレースバリなんば道頓堀店へのアクセス

大阪メトロ地下鉄各線 なんば駅14番出口 徒歩5分
大阪メトロ千日前線・堺筋線 日本橋駅B26番出口 徒歩2分
阪神なんば線・近鉄奈良線 大阪難波駅14番出口 徒歩5分

- 会場 グレースバリなんば道頓堀店 6階 ルアン
大阪市中央区道頓堀 1丁目 4番 27号
電話: 06-6484-0266
- 会費 男 性: ¥6,000— 女 性: ¥3,000—
※申し込みは同封の葉書でお願いいたします。
締切日: 10月10日(火)着
会費は当日受付にてお支払いください。